

## 新しい飼料作物奨励品種の紹介

草地飼料部 草地飼料チーム TEL:0229-72-3101

### 研究の目的

畜産経営の安定化のためにも、自給飼料の増産は重要な課題となっています。畜産試験場では、栽培試験を実施し、品種の生育特性や生産性を調査して、県内における栽培に適した飼料作物の選定を行っています。今回は、飼料用トウモロコシの品種について、それぞれの生産特性を調査しました。

### 研究成果

調査の結果、2品種に生産成績の優位性が認められ、新たに奨励品種として選定されましたので、紹介します。

#### (1) スノーデントSH4812 (雪印種苗から販売)

当品種は、標準品種のスノーデント125Tと比較して、全ての項目で同等の能力を持っています。

表1 「スノーデントSH4812」の主要な特性

品種名	早晩性	RM	収量性	耐倒伏性	耐病性					虫害	赤カビ
					ごま葉枯病	すす紋病	紋枯病	黒穂病	根腐病		
SH4812 (雪印種苗)	中生	125	○	○	○	○	○	○	○	○	○

凡例 ○：普通

#### (2) Zコーン125 (全国酪農業協同組合連合会から販売)

当品種は、標準品種のスノーデント125Tと比較して、収量性、耐倒伏性、耐病性、虫害耐性は同等です。赤カビ耐性は「Zコーン125」が優れています。(表2)

表2 「Zコーン125」の主要な特性

品種名	早晩性	RM	収量性	耐倒伏性	耐病性					虫害	赤カビ
					ごま葉枯病	すす紋病	紋枯病	黒穂病	根腐病		
Zコーン125 (全酪連)	中生	125	○	○	○	○	○	○	○	○	◎

凡例 ◎：優れる ○：普通

### 利活用の留意点等

「スノーデントSH4812」, 「Zコーン125」の栽植本数は、10a当たり6,000～6,500本(畝間75cmの時、株間約21cm)とし、1本仕立てにしてください。

より詳しい内容は「普及に移す技術」第94号(平成31年4月発行)  
「飼料用トウモロコシ奨励品種(SH4812)」, 「飼料用トウモロコシ  
奨励品種(Zコーン125)」をご覧ください。

[http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res\\_center/hukyuu-index.html](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/hukyuu-index.html)

